

【循環腫瘍細胞が、臨床での原発巣の外科的切除や転移巣の切除に役立つ、予後予測因子になり得ているので、非常に役立っています。】

Perioperative circulating tumor cell detection: current perspectives.

(周術期における循環腫瘍細胞の検出:最新展望)

Kaifi JT, Li G Clawson G, Kimchi ET, Staveley-O'Carroll KF

選択された症例での原発巣切除と外科的転移巣切除によって、生存率が有意に改善されが、多くの患者で再発が起きている。循環腫瘍細胞(CTCs)は、様々な癌の予測に使用できる独立したマーカーとして機能している。癌の切除中に血液と骨髄分画を採取することは、個別の腫瘍細胞の捕獲量を効率的に増加させるのに、滅多にない機会である。このレビューでは、周術期における腫瘍分離の診断能力と治療能力に注目し、分子治療と免疫回避機構に標的を定めた単一の播種癌細胞の特徴を把握する将来の研究に向けた準備が為されている。

各位

R.G.C.C. 社ニュースレターのアブストラクトの訳を配信致しました。
原文をご希望の際はお申し付けください。

会員向けの無料配信がございます。

<https://www.rgcc-group.com/index.php?page=newsletter>

にてお名前とEmailアドレスを入力の上、ぜひご登録をお願い致します。

ここに登録頂きますと、以下の情報が配信されます。

- ・ R.G.C.C.社ラボとコンタクトを持つ世界中の医師からの質問とそれへの返答内容。
- ・ 世界中のがんの専門医から寄せられる論文、治療の手法、意見、アイデア、CTCにかかわる世界の学会情報などの共有。
- ・ R.G.C.C.社ラボにおけるCTC、CSC、天然成分由来の抗がん治療製剤開発などにかかわる最新情報の配信。
- ・ CTC、CSCに基づき治療された患者群のフォローアップ統計の推進(これは再検査の際に提出される患者フォローアップシートへの記入がもととなりますので、ぜひご協力のほどお願い申し上げます)。

以上ですがぜひ、このサークルを広め役に立つ情報の共有を推進したくご検討のほどよろしくお願ひ申し上げます。

株式会社デトックス